

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回覧 [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]

ニューキャンパスシリーズ 41 (通算 429 回)

2009 年 7 月 15 日(水)

大学キャンパスのリスク管理

薬物乱用防止の具体方策と実際

～ 逮捕事例・報道の検証/そのとき大学は/啓発の諸活動 ～

- ※ 薬物乱用等の状況/心身への健康障害/乱用・依存・中毒の違い/薬物依存の治療
※ 大麻逮捕の事例/マスコミ報道の検証/説明責任のあり方/効果的な対応と防止策
※ [関西大] 初期対応/記者会見/対策本部の諸活動/活動の継続/4 大学共同声明

講師陣

和田 清 氏 / 国立精神・神経センター精神保健研究所 薬物依存研究部長
小林 哲夫 氏 / 教育ジャーナリスト、朝日大学ランキング編集統括
芝井 敬司 氏 / 関西大学副学長

2009 年 7 月 15 日(水) 中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日時: 2009 年 7 月 15 日(水) 10:00~16:50
会場: 中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)
東京都千代田区神田駿河台 3-11-5
03(3292)3111
アクセス: JR「お茶の水」駅徒歩 3 分/東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 B1 出口 徒歩 3 分
※会場の地図及び受講証を送付しますので、必ずご確認ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。
支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660
全ての口座名<(株)地域科学研究会>
※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

参加費: A. ご一名(資料代込) 40,000 円(消費税込)
B. メディア参加(資料・カセットテープ送付) 31,000 円(送料、消費税込)
※2 講師分のみ配布

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
Tel: 03(3234)1231/Fax: 03(3234)4993
E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp
URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

ニューキャンパスシリーズ 41
薬物乱用防止の具体方策と実際

2009 年 月 日
□ 当日参加 □ メディア参加
(□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

Table with 3 columns: 参加者氏名, 所属部課役職名, メールアドレス

〈通信欄〉支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 必要書類 [□ 請求書 □ 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ) 12:00	<p>□ 薬物乱用等の状況と心身への健康障害                      ～薬物乱用・薬物依存・薬物中毒の違いを理解することの重要性～                      国立精神・神経センター精神保健研究所 <b>和田 清</b></p> <p>1. 薬物乱用・依存の現状                      2. 薬物乱用・薬物依存・薬物中毒の理解                      (1) 薬物乱用とは                      (2) 薬物依存とは                      (3) 薬物中毒とは                      3. 薬物依存に対する治療とは</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:00 ) 15:00	<p>□ 学生が大麻で逮捕。そのとき大学は……                      ～逮捕報道や学生への処分など、リスクマネジメントを考える～                      教育ジャーナリスト <b>小林 哲夫</b></p> <p>1. 大麻で逮捕された事例（2007～2009年）を検証する                      (1) 大麻吸引の状況。学生はどこで大麻を入手するか                      (2) キャンパス内での売った側、買った側                      (3) 体育会系運動部のケース（寮、合宿所など）                      2. 「〇〇大学、大麻で逮捕」の報道を振りかえる                      (1) テレビ、新聞の報道パターン。記事の大きさ、内容                      (2) 大学名が実名、あるいは匿名の場合                      (3) 大学からのコメントの伝わり方                      3. 大学側の説明責任のあり方を考える                      (1) 記者会見でどう釈明するか。謝罪するか                      (2) 責任者をどこまで出すか。学長を出すか                      (3) 声明文をどう作るか。文科省への報告は                      4. 発覚後の対応、大麻防止対策などで効果的な政策を考える                      (1) 学生に対する啓蒙活動のあり方                      (2) 地元警察、厚生労働省との情報交換                      (3) 逮捕学生への処分について</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:10 ) 16:50	<p>□ 薬物乱用防止対策の展開                      ～関西大学における大麻事件への初期対応と防止対策～                      関西大学 <b>芝井 敬司</b></p> <p>1. 大麻事件の発生と最初期の対応                      (1) 過去にもあった薬物事件                      (2) 緊急事態！ 大麻事件の発生と記者会見                      (3) 薬物事件再発防止対策本部がなかったら……                      2. 対策本部の諸活動                      (1) ステークホルダーへの謝罪と説明                      (2) 情報収集と啓発活動                      (3) ようやく報告書の作成へ                      3. 活動の継続                      (1) 薬物乱用防止委員会への継承                      (2) 関西4大学共同声明のこと                      (3) No Drugs. 新入生行事とアンケート調査</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>